

2023年大発会理事長挨拶

2023年1月4日

皆様、令和5年、明けましておめでとうございます。

今年は、3年振りに行動制限がない年末年始でしたので、皆様も、久し振りに充実した時間を過ごされたのではないのでしょうか。

本日は恒例の札幌証券取引所の大発会ということで松重北海道財務局長をはじめ証券関係者の皆様、大勢お集りいただきました。また、朝早くから晴れ着姿でお集りいただきました証券レディの皆様、本当にありがとうございます。

年始にあたり一言ご挨拶させていただき
ます。今年も大変厳しい環境の中で新年を迎え
た訳でございます。ご承知のようにウクライ



(小池理事長)

ナ紛争も昨年から一年たち、コロナは三年を経過します。昨年はコロナもそろそろ収まるのではないかと予想しましたが外れてしまい、まだまだ大変な状況でございます。何とか出口が見えてくるようなそんな年になると良いなと思っております。人、物、お金などが先ほどの情勢により滞り、物価高にあっても賃金上昇が伴わず経済にとっての逆風になっていた訳でございますけれど、それが変わる年になればと思っております。国内的に見ましてもアベノミクス、クログノミクスと言われた経済政策がちょうど十年経って今年はそろそ



「手締め」
日本証券業協会
北海道地区協会 伊藤会長

ろポストアベノミクス云々というような変化といったものも予想されております。

岸田内閣は、今年を資産所得倍増5か年計画の元年とすることを打ち出しております。

今後、NISA 制度の拡充や恒久化あるいは

税制の改正など多様な政策が導入されてくるのではないかと考えております。札幌証券取引所もそういった経済のニューインフラの一つになるべく再始動していく元年にしたいと考えております。また、本所の窓からも建設用クレーンが林立する光景が見られるように、2030年新幹線札幌延伸に合わせるかのように札幌市内再開発工事が進んでいます。また札幌以外ですが、今年完成する大型プロジェクトでは、ご承知の北広島にできる北海道日本ハムファイターズの本拠地となるボールパークでございまして3月に開業します。非常に大きなインパクトを北海道の経済や社会全般に与えるようなことになると思っております。

という訳で本日はゲストに北海道日本ハムファイターズの大黒柱、上沢直之投手にお越しいただき、札幌の仕事始めに花を添えていただきました。今年前半の大きな出来事になると思っておりますボールパークという新しい舞台で、是非ファイターズの今年の日本一を祈願して、後ほどご挨拶とその後には札幌の鐘を打鐘して頂きます。

本日ご参集の皆様もそれぞれの今年の希望を込めて一緒に祈願いただければと思っております。

今年も一年皆様方と一緒に北海道の経済に貢献できますよう活動していきたいと思っております。大発会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。



札幌の鐘「打鐘」

「今年、新球場で新たなスタートを迎えます。皆様と一緒に優勝を目指して頑張りたいと思っております。応援よろしくお願ひします。」

北海道日本ハムファイターズ 上 沢 直 之 投手 背番号「15」